

秦 裕彰様（C02）からお声を頂きました。※見学会、講演会及び懇親会に参加

この度、初めて構築会主催の見学会、講演会ならびに懇親会に参加させていただきました。改めて、幹事長の田中様をはじめ、阪神高速道路株式会社の奥田様、鎌田先生、相良先生方に御礼申し上げます。本学を卒業して9年目になり、これまで現場監督業務を主に担当してきましたが、目先の業務に追われていたこともあり、社外ネットワークの重要性についての認識は低いものに止まっていた。しかしながら、当イベントを通して、先輩方が多方面にわたり活躍されていることを知り、お話しさせていただいた誰もが「ネットワークを形成していくことで、大きな視野持ち、業務の幅を広げていくことができる」と仰っていたことから、認識を改めさせていただいた次第です。今後とも、構築会主催のイベントに参加させていただき、次回は同年代の卒業生にも声を掛けていきたいと考えています。簡単ではございますが、感想を述べさせていただきました。

余談になりますが、上司（阪大OB）から構築会のイベントに参加するよう言っていただけで、非常にスムーズに出席することができました。お手数を掛けてしまいますが、今後とも、このような参加要請をしていただければ、とても嬉しく感じます。

後藤冴香様（C12）からお声を頂きました。※見学会で案内、懇親会に参加

西日本最大級のシールドマシンを実感していただき、みなさんに驚嘆の声を上げて頂き、阪神高速の一社員として誇らしく感じました。三宝ジャンクションの現場では、時間はあまりなかったですが、阪神高速湾岸線と近接する厳しい条件の中で作業されているのが実感できたのではないかと考えております。しかし、シールド工区では1列に並んでの見学だったため、わかりにくい部分も多々あり、申し訳ございませんでした。

私個人の感想としては、今回は阪神高速の現場だったため案内する側になりましたが、自分の仕事ではなかなか関わることのできない現場をみる体験というのは、本当にうらやましく感じました。また、参加される方の年齢や職業が全く異なるという点でも、普段とは違う視点からのご意見をいただけたので、これから是非活かしていきたいと思えます。

懇親会では、最初はなかなかじめない部分もあり、同じ会社の人や知っている先生としか話せなかったのが残念でした。やはり、周りを見ても年代別に固まっているところが多かったように感じました。しかし、最後のほうになると、私も周りもだんだん和やかな雰囲気になり、話しやすくなりました。いろんな人の本音や若い人に頑張ってもらいたいことなどたくさん聞けたことはとても貴重な時間となりました。

あれだけの人数を集めて、幹事をするのはとても大変だったと思いますが、本当にお疲れ様でした。行く前は正直行きたくない気持ちもありましたが、いざ行ってみると本当に楽しい時間となりました。このような機会をありがとうございました。

清水厚延様（C84）からお声を頂きました。※見学会、講演会及び懇親会に参加

1 見学会

「阪神高速大和川線 シールド工区および三宝 JCT 工区 建設工事現場」

- ・見学会の集合場所は分かり易く、移動は貸切バスを用意して頂いたため、非常にスムーズでした。
- ・見学させて頂いた「阪神高速大和川線」は大阪都心部の慢性的な渋滞を緩和するための「新たな環状道路の整備」であり、みなさんが興味を持っている現場であったと思います。
- ・説明はイヤホンを用意して頂き、非常に聴きやすかったです。
- ・シールド工区は最大級のシールドマシンで施工しており、長距離施工対策、線形管理対策や重要構造物近接施工対策がなされた優れたマシンで見学前の説明もあわせ、興味のある内容でした。

- ・発進兼到達立坑、セグメント施工済みのトンネル部およびシールド掘進部を順に現場見学でき、スケールの大きさやシールドの施工状況を理解できたと思います。
- ・三宝 J C T 工事は見学時間の関係もあり、全体的な見学となったため、橋脚から橋梁の施工に至る様々な技術や特徴については、やや説明が少なかった気がしました。
- ・現場見学に関して、様々な質問や感想を持たれたと思いますが、時間の関係もあり、質疑があまりでなかったように思います。

2 講演会

「防災拠点には蓄熱システムを！」大阪大学建築工学部長 相良和伸教授

- ・エコや B C P が重要視されている現在に合ったテーマで興味深く聴かせて頂きました。
- ・具体的な建物を挙げた説明でわかりやすく興味深く聴くことができました。
- ・われわれ土木技術者もこういった技術を勉強していかないといけないと感じさせられました。

「下水管を叩いて診る方法」大阪大学社会基盤工学部門長 鎌田敏郎教授

- ・老朽化した下水道の更新技術はこれからのテーマであり、興味深く聴かせて頂きました。
- ・更新のための劣化診断は重要であり、ロボットによる診断は有効な方法だと思いました。また、高価なロボットに気遣いながら研究されていることがよくわかりました。
- ・このような技術を官・民・学が協力して研究することでより有益な更新技術が生まれるだろうと感じました。

3 懇親会

「ホテル日航大阪 4 階」

- ・幹事から声掛けして頂いた成果だと思いますが、若い方も含めてバランス良く参加されており、よかったですと思います。
- ・若い方が参加しやすいように年代で金額に差をつけられたのもよかったですと思います。
- ・懇親会の進行や挨拶等も適切で、懇親会中に様々な方と会話もでき、よかったですと思います。
- ・料理についても適切であったと思います。
- ・この状態でさらに参加者が増えればより良いと思いました。われわれも協力していきたいと思います。